

つくば 湧水マップ

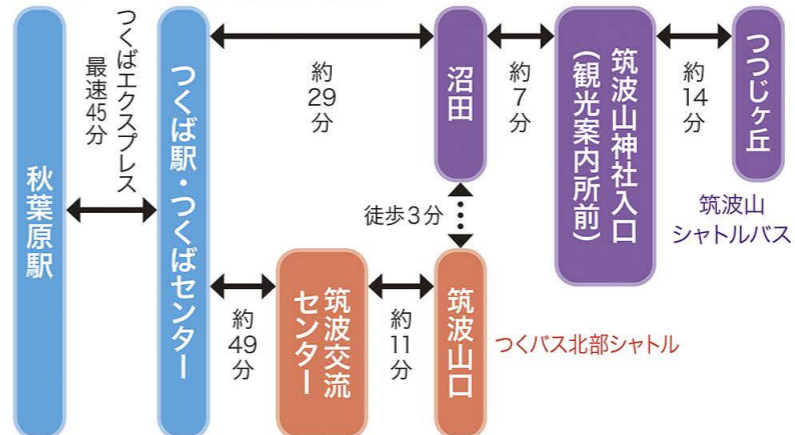


● 湧水散策のマナー

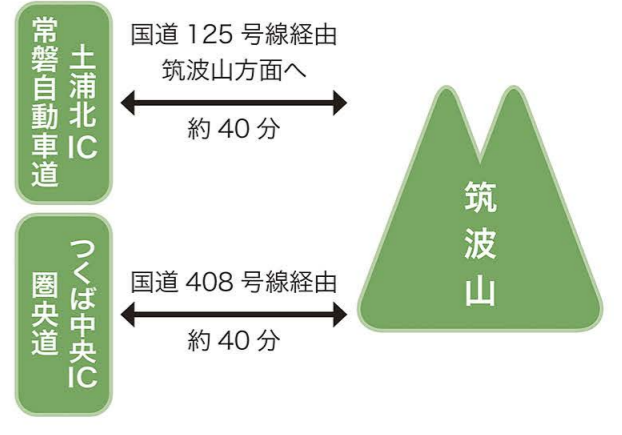
- 掲載されている湧水は飲用を保証するものではありません。むやみに飲まないようにお願いします。
- 共同利用や個人敷地内等の湧水があります。散策の際は、必要に応じて許可を得る等、周辺環境の保全も含め十分配慮をお願いします。

● 筑波山へのアクセス

<電車・バスをご利用の場合>



<車をご利用の場合>



● つくば湧水マップ

発行日：2022年3月

編集・発行：つくば市 生活環境部 環境政策課

協力：つくば市環境マイスター、筑波大学

ルート1 往復約7.1km 筑波山麓の湧水を巡る探検コース

- 往路**
- 筑波六丁目 一の鳥居 ↓ 1.6km 徒歩20分
 - ふれあいの里近くの湧水 ↓ 1.2km 徒歩15分
 - 白滝神社
- 復路**
- 白滝神社 ↓ 2.5km 徒歩30分
 - 香の井 ↓ 0.6km 徒歩8分
 - 杉の井 ↓ 0.3km 徒歩4分
 - 椿の井 ↓ 0.4km 徒歩8分
 - 清水 ↓ 0.5km 徒歩9分
 - 筑波六丁目 一の鳥居



ルート2 片道約8.7km 400年の歴史をもつ「つくば道」をたどり、湧水を巡るコース

つくば道
寛永3年(1626年)、三代将軍家光の時、中禪寺(現在の筑波山神社)の堂社を一新する工事が始まり、北条から神郡を抜けて筑波に至る資材運搬路が作られました。これが後に「つくば道」と呼ばれ、参詣道となりました。



ルート3 片道約2.2km 万葉の地、男女川の源流を訪ねるハイキングコース

御幸ヶ原コース
筑波山神社の拝殿から男体山山頂の本殿を結ぶコース。昔から「表参道」と言われる定番のコースです。



ルート4 片道約6km 霊水を求め四季の道を行くコース

推尾山薬王院(ふどうの水)
薬師如来を本尊とする天台宗の歴史ある寺で、筑波四面薬師の一つとしても知られています。周囲にはスタジイの巨木が群生しており、不動明王像の横には裏手の山の湧水を導水した「ふどうの水」があります。

筑波山四季の道
春には、山肌一面にヤマザクラの優しいピンク色、夏には、カシの森の涼しい緑陰と蝉しぐれ、秋には、谷を埋め尽くす見事なイロハモミジの紅葉、冬には青空を背景に葉を落とした木々の梢で遊ぶ小鳥たちと、四季を感じることができる散策路です。



筑波山麓の湧水ができるまで

筑波山に降った雨や雪は、少しずつ地下へ浸透していきます。山頂付近の斑れい岩は風化されにくいですが、亀裂などができやすく、水が浸透し、裂隙水型の湧水となります。筑波山山頂付近のブナ林やその他の落葉広葉樹、特に花崗岩風化物であるマサ土を主な母材とする褐色森林土は水を蓄えることが可能で、地下水となって山麓斜面に沿って流れ、地形が急斜面から緩斜面に変化する地点や、斜面の凹地や谷頭部で湧出することがあります。山麓の集落では、大切な山の恵みとして、湧水や井戸水が大切に使われてきました。

